

## 心理学研究科修士課程 履修モデル①

研究科	心理学研究科 現代心理学専攻
履修モデル名	対人支援モデル
履修モデルのポイント	心理学や修士論文作成に関する高度な知識を身につけたうえで、臨床発達心理士の受験資格取得を想定するモデルである。そのため、子どもの発達、子育てや保育および発達障がいのある者への支援に関する科目を中心に履修する。修士論文作成に関する「現代心理学特別研究」は2年次に位置しているが、1年次から指導教員のもとで取り組んでいく。
主な進路	(臨床発達心理士の資格を取得後) 発達支援や福祉に関する施設、就労支援に関する企業や法人等

科目区分	1年次		2年次	
	科目名	単位数	科目名	単位数
現代心理学 方法論	心理学研究・統計法演習	2		
	調査研究・データ解析実習	2		
	アカデミック・スキルズ	2		
現代心理学 特論	心理学の歴史と理論	2	言語発達特論	2
	認知心理学特論	2		
	発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2		
	法と心理学特論	2		
	家族心理学特論	2		
心理援助学 特論	カウンセリング再入門	2	健康心理学特論	2
	言語発達の評価と支援	2		
研究指導			現代心理学特別研究	4
心理学研究科 臨床心理学 専攻科目	発達障害臨床心理特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2		
生涯福祉研究科 生涯福祉専攻 科目	子育て支援特論	2	保育ニーズ特論	2
単位数		24		10
総単位数計				34